



Kitanagase Wind
2025.6

北長瀬の風

ご自由にお持ち帰り
ください
無料



北長瀬移転10周年を迎えました

10th ANNIVERSARY

Contents

- 北長瀬移転10周年を迎えて
—これまでの10年、これからの10年—
- 地域に必要とされる病院であるために
市民病院が果たすべき使命
- 新任医師紹介
- 知っ得!感染症!「抗菌薬の正しい使い方 ~決められた通りに飲む理由~」
- 南風~せのお病院だより⑥~
- 連携医療機関の紹介『瀬本医院』
- 市民病院Topics

この町であなたと生きる 岡山市立市民病院

地域の皆さまに支えられ、当院は北長瀬移転10周年を迎えることができました。

本誌では、節目の年にあたってのごあいさつ、私たちが果たすべき使命、そして新たに加わった医師のご紹介等を通じて、地域とともにある市民病院としての歩みと未来をお伝えします。これからもこの町で、地域に根ざした信頼される医療の提供に全力で取り組んでまいります。今後とも、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

北長瀬移転
10周年を迎えて

これまでの10年 これからの10年

2025年5月、岡山市立市民病院は
北長瀬の地に移転して10周年を迎えました。

地域の皆さまのあたたかい
支えに心より感謝申し上げます。

これからも地域の健康を守るために
次の10年へ歩み続けます。

岡山市立市民病院
OKAYAMA CITY HOSPITAL

2025年5月7日撮影
2015年5月7日に北長瀬の地で新たなスタートを切り、節目となる10周年を迎えました。
変わらぬご支援に感謝しながら、新たな一歩を刻む記念の日の一枚です。

理事長・院長よりメッセージ

患者さんに安心と信頼を、職員に希望と誇りを、病院に輝きと感動を！

「もうこの地域には市民病院は必要ない」と言われた逆風の中、かつて2000年、2005年と2度にわたり当院の存廃論議が行われました。そして2010年に廃院の危機から一転、病院存続かつ移転新築の決定に至りました。その後、設計と施工に5年を費やしたのち、ついに、2015年5月、関係者の思いが詰まった新病院が開院しました。



2015年移転時の北長瀬駅、市民病院と操車場跡地

しかし、新病院誕生から束の間、5年目に再び病院の危機が訪れました。新型コロナウイルス感染症の襲来です。2020年3月に岡山県で第一例目となる患者さんを受け入れて以降、当院とコロナウイルスとの壮絶な戦いが始まったのです。この未知なる感染症は世界中で猛威を振るい、社会を一変させました。

そのような中、当院は公立病院としての使命のもと、怯むことなく職員一丸となってこの感染症に立ち向かいました。そして日夜問わず奮闘した結果、最大の危機と困難を乗り越え、一定の終息を得ることに寄与できたのです。

コロナ禍を乗り越えて 未来を見据える地域医療の中核へ

地域の方々の温かい励ましやご支援と職員一丸となったの取り組みにより、北長瀬移転後無事10周年を迎えることができました。当院は岡山市の設立した公立病院であり、この間岡山市や近隣地域の皆様が安全で安心な暮らしを送り、健康を維持できるよう診療を行ってきました。

特に「断らない救急」に努めており、日中のみならず夜間や休日を含め24時間365日すべての救急患者の受け入れや初期診療を目標に岡山ERの安定した運用を行い、大過なく救急体制を維持してきました。

専門診療分野では、専門診療科の充実だけでなく、臓器や疾患別センターを配備し、診療科横断的な診療体制を整えています。具体的には脳疾患センターでの脳卒中对応、IVRセンターや心不全センターでの循環器疾患対応など、専門疾患の急性期対応ができる体制を構築しています。岡山大学や地域の医療機関とも強い連携を行い、急性期医療を展開してきました。

2020年3月に岡山にも新型コロナウイルス感染症が襲来し、長期に亘り窮屈な思いが続く日々がありましたが、やっと一段落し、日常の暮らしが戻ってきました。コロナ禍の間は職員一同恐怖心を抱えながらも、県内最大数の入院をお引き受

これを機に多くの市民の皆様方から「市民病院があってよかった」という声を頂き、移転10周年を迎えた本年、地域から真に認められる病院となりつつあることを実感しています。

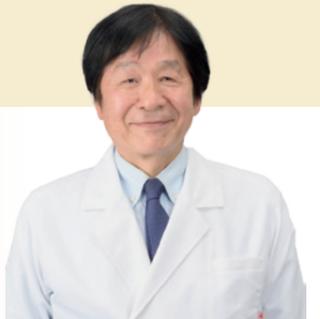


2015年5月 新病院内覧会にて

予測しづらい環境において大切なことは、あらゆる変化にも対応できるよう自分自身も変化し続けることです。私たちは、これまでの10年の経験を踏まえ今後も「市民病院の存続意義」を忘れず、基本理念の「心・技・体」を胸に、質の高い医療を提供してまいります。そして、これからの10年も、信頼をも超える感動を提供できるよう、職員一同、引き続き努力を続けてまいります。

岡山市立総合医療センター
理事長

松本 健五
まつもと けんご



けし、公立病院としての使命を果たせたかと自負しております。

この10年間で職員数も増え、皆様のご期待に応えるべく研鑽を積んでおり、医療DXにも率先して取り組んでいます。2025年には地域包括ケアシステムが本稼働する予定です。住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けられるよう、また在宅医療により力点を置いて進め、医療機関や介護施設、行政機関が今まで以上に緊密に連携し、その地域で完結できるようにすることが求められています。当院は、行政や医師会と協力し、情報の共有や伝達を円滑に行いながら、地域包括ケアシステムの中核急性期病院として役割を果たしていきたいと考えます。

岡山市立市民病院
院長

今城 健二
いまじょう けんじ



地域に必要とされる病院であるために

特集

市民病院が 果たすべき使命

市民の命と健康を守るために、
当院は「救急」「教育」「災害」の3つの使命を掲げています。
すなわち「断らない救急」「医療人の人材教育」「感染症・災害時医療」という柱のもと、
地域とともに歩む私たちの取り組みと、その背景にある想いをご紹介します。



使命 // 01 // 断らない救急

救急医療の輪で実現する「24時間365日断らない救急」

ER(救急治療室)は、24時間365日、症状や病気の種類にかかわらず患者さんを受け入れ、初期診療を行う場です。高齢化の進行により救急患者は増加していますが、当院は地域と連携し、「断らない救急」の実現に取り組んでいます。

北長瀬移転以降、「岡山ER」の中核を担う当院では、常時救急患者を受け入れ、初期治療や重症例の適切な転院コーディネートを行っています。コロナ禍を経て、救急病院だけでなく複数の病院やクリニックが連携する「救急医療の輪」が広がり、現在もその連携体制が続いています。



また、「救急医療の輪」を維持するためには市民の皆さんの理解と協力も重要です。日ごろから「かかりつけ医」を持ち、軽症時にはまず相談することで、本当に緊急性の高い患者さんが迅速に治療を受けられる環境が守られます。市民の皆さんの日常を支える、かかりつけ医の先生も「救急医療の輪」の一員です。

皆さま一人ひとりの行動が、「断らない救急」を支える力となります。今後も地域に欠かせない存在であり続けられるよう、地域とともに歩んでまいります。



実はこんなことも!

地域を支える取り組み

●自治体病院協議会

当院が事務局を務める岡山県自治体病院協議会では、県内各地にある自治体病院が協力して、地域医療の維持・発展のために活動しています。医療を通じて地域の方々の暮らしを支える取り組みを進めています。



●離島検診事業

岡山市からの委託事業として、長年に亘り犬島での検診事業を行っています。現在は年1回、眼科と耳鼻科の検診を行い、島民の方々の健康を支えるお手伝いをしています。



使命 // 02 // 医療人の人材教育

連携施設と協働し、地域医療を担う医療人の育成に努める



地域医療において、人材の安定的かつ継続的な確保は重要な課題の一つです。当院では、岡山大学と連携し、救急専門医や総合診療医の育成を目的とした大学院教育を活用するとともに、研修医や医学生、看護学生、薬剤師レジデントなど、各専門職の学生を受け入れ、実習・研修体制の強化にも力を入れています。

また、内科救急講習会(JMECC)や周産期救急セミナー(ALSOなど)、ICLSをはじめとする各種研修コースの開催を通じて、地域医療従事者のスキル向上を図ってきました。加えて、岡山市消防局との連携により、救急救命士の常駐および継続教育の場を提供し、市民の安心を支える「救急ワークステーション」としての役割も担っています。



使命 // 03 // 感染症・災害時医療

災害にも感染症にも揺るがない、市民病院の使命

北長瀬移転時から、災害時医療を担うべく有事に備えた設備計画が行われました。地震に強い免震構造を採用し、屋上ヘリポートや各部門への動線など、災害時のあらゆる場面に対応できるように計画・建設されたのが、現在の市民病院です。

また、ハード面だけでなく人材育成にも力を入れています。災害医療研修や事業継続計画(BCP)の策定と訓練、災害医療救護訓練などを積極的に実施し、大規模災害に備えた体制の構築を進めています。

さらに、近年は自然災害に加え新たな脅威への対応も求められています。2019年に発生した新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行は、災害と呼ぶに等しい大きな社会的影響を及ぼしました。

「第二種感染症指定医療機関」である当院は、県内初のCOVID-19患者を受け入れ、その後も他の医療機関や自



治体と協力し、感染症治療の中核的な役割を担いました。

大きな試練を乗り越え、困難な状況の中でも市民の信頼に応え、地域医療の一翼を担うという使命の重みを改めて実感しています。

今後もどのような有事においても迅速かつ的確に対応できる体制の整備を進め、市民の皆さまの安心と安全を守る医療機関であり続けられるよう努めてまいります。



●薬剤師派遣

岡山県と連携し、医療資源が不足している地域の医療機関等に、当院で実践を積んだ薬剤師を派遣しています。地域全体における医療体制の強化、薬剤師の質の向上を目的としています。



●災害派遣医療チームDMAT

DMATは災害時に現地へ赴き医療活動を行う専門チームです。当院は岡山県から「おかやまDMAT」の指定機関として認定を受けており、約20名の職員が所属して活動を行っています。



新任医師のご紹介

4月に着任された総勢29名の医師をご紹介します。



外科部長
林 伸泰
はやし のぶやす



麻酔科主任医長
中村 龍
なかむら りゅう



膠原病・リウマチ内科副医長
片山 祐
かたやま ゆう



整形外科副医長
小浦 卓
こうら たかし



血液内科医員
上野 雅也
うえの まさや



消化器内科医員
山本 淳史
やまもと あつし



総合内科・感染症内科医員
友直 良文
ともなお よしふみ



整形外科医員
坂田 慎一郎
さかた しんいちろう



救急科医員
神野 駿太
じんの しゅんた



消化器内科医員
代谷 元
しろや はじめ



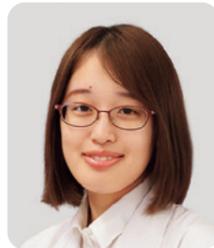
救急科医員
山田 夏海
やまだ なつみ



膠原病・リウマチ内科医員
安藤 碧
あんどう あおい



膠原病・リウマチ内科医員
川原田 有莉
かわはらだ ゆり



消化器内科医員
黒田 純
くろだ じゅん



皮膚科医員
近藤 文菜
こんどう あやな



泌尿器科医員
齋藤 大介
さいとう だいすけ



糖尿病内科医員
伴場 友香
ばんば ゆうか



消化器内科医員
東森 凌司
ひがしもり りょうじ



消化器内科医員
矢野 園子
やの そのこ



研修医
浅越 康介
あさごえ こうすけ

研修医
大塚 美祐
おおつか みゆ

研修医
小松原 悠
こまつばら ゆう

研修医
坂井 里帆
さかい りほ

研修医
曾山 温太
そやま ほんた

研修医
高場 晋吾
たかば しんご

研修医
日野 翔太
ひの しょうた

研修医
藤田 浩毅
ふじた ひろき

研修医
三國 隼大
みにく はやと

研修医
味野 宏紀
みの ひろき

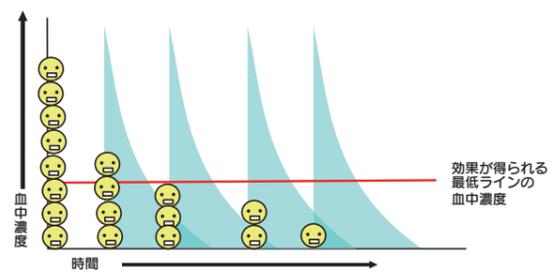
知っ得！ 感染症！ 岡山市立市民病院 感染管理室

抗菌薬の正しい使い方 ～決められた通りに飲む理由～

Q. 毎食後に抗菌薬を処方されましたが、お昼の薬を忘れてしまいます。なぜ用法通りに飲まないといけないのですか？

A. 抗菌薬は、体内で一定の量を維持しないと効果が得られません。食事の際に服用することで、薬の効果を最大化できます。お昼の薬を忘れると、体内の薬の量が不足し、治療効果が弱まります。

OK例 細菌が増える隙を与えない！



NG例 投与と投与の間で細菌が増える

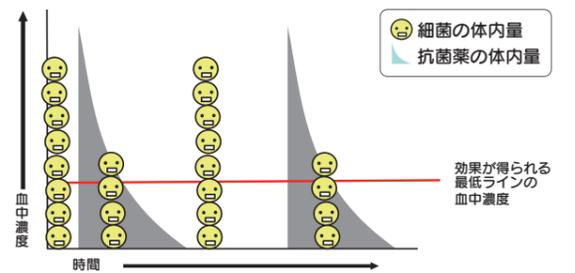


図 毎回抗菌薬を飲んだ場合と飲み忘れた場合の、抗菌薬の体内量と細菌の増え方のイメージ

南風

切れ目のない リハビリテーション

岡山市立せのお病院院長 臼井 正明

せのお病院の大きな役割は、入院患者さんに必要なリハビリテーション(以下リハ)を提供し、自宅生活に復帰していただくことです。市民病院で手術を受けた患者さんや内科治療後の患者さんの歩行訓練、日常生活訓練などを行っています。自宅生活に必要な食事・更衣や排泄・入浴動作などに加え、屋外での坂道・階段歩行も指導します。敷地内には、花壇のある歩行路があり、歩行訓練しながら季節の花々を楽しむことができます(写真)。せのお病院のリハスタッフは11人(理学療法士8名、

作業療法士2名、言語聴覚士1名)で、全員岡山市立市民病院での勤務歴があり、人工関節術後などの急性期リハを熟知しています。市民病院から転院後も専門スタッフのもとで一貫したリハが受けられます。



せのお病院の花壇

さらに、せのお病院は「外来リハ」を行っています。退院後、筋力の改善や生活に必要な動作獲得のため多くの患者さんが通院しています。当院は、市民病院と協力して入院から退院まで、さらに自宅退院後も切れ目のない体制で患者さんをサポートしています。

外来について

外来診療受付時間 【初診】8:30～11:00 【再診】8:30～11:30 及び12:00～15:30
自動再来機での受付 (3か月以内に当該科に受診歴のある方) 7:45～16:30

- ただし、急患の場合はこの限りではありません。
- 担当医は都合により変更になることがあります。
- 予約がない方の受付は9:00からになります。必ずしも受診できない場合があります。

外来診察担当についての最新情報は
右の二次元コードよりホームページをご確認ください。



読者アンケートのお願い

今後の誌面作成の参考とするため、読者の皆様から本誌に対するご意見をお寄せください。右の二次元コードよりアンケートにご回答いただけます。



涿本医院

内科

当院は岡山市北区西古松で開業し、私が先代から継承して今年で40年になります。

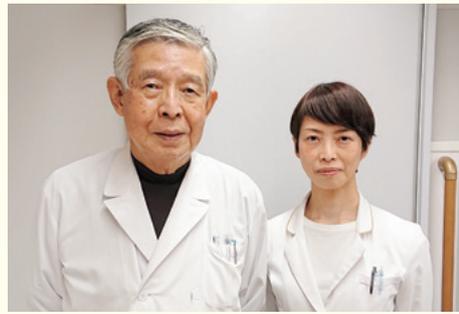
令和4年からは娘の涿本康子医師と2診体制です。私は糖尿病、娘は呼吸器を専門としていますが、地域のかかりつけ医として様々な疾患の診療にあたらせていただいています。

また予防接種、健康診断、訪問診療に対応しています。隔週の水曜日には検査技師による超音波検査(腹部・甲状腺・頸動脈)をおこなっています。

市民病院の先生ならびにスタッフの皆様には、日々の外来診療だけでなく緊急時にも迅速に対応していただき大変助けられています。また、詳細な情報提供をいただき診療の一助になっています。心より感謝しています。

どの診療科を受診すべきか等、分からないことがありましたら気軽にご相談ください。

今後も地域医療に貢献できるよう努めてまいりますので、よろしくお願い致します。



涿本 武文院長と涿本 康子医師



診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:30	○	○	○	○	○	○	休
15:30~18:00	○	○	○	休	○	休	休

休診日：木曜午後、土曜午後、日曜日、祝日

〒700-0927 岡山県岡山市北区西古松2丁目28-14
TEL:086-241-9484 FAX:086-241-9008

市民病院Topics

岡山市立市民病院の人間ドック

人間ドックを利用して、健康な時こそ「自分の体」と向き合ってみませんか？

当院では、ご利用される方のニーズに合わせ 4種類のコースをご用意しています。



日帰りドック **標準コース**

38,000円(税込)

生活習慣病の予防やがんの早期発見を目的とした標準コース
※胃カメラ(胃内視鏡検査)含む

日帰り脳ドック

64,500円(税込)

脳MRI検査を日帰りドックに追加して脳血管疾患までカバーしたコース

1泊2日ドック

69,200円(税込)

日帰りドックの内容に加え、さらに詳しい検査を追加した充実コース

1泊2日脳ドック

105,600円(税込)

充実した1泊2日ドックに脳MRI検査まで加えたスペシャルコース

その他にも、脳・心臓の専門ドック、各種オプション検査もご用意しております。人間ドックはすべて予約制です。詳しくは市民病院webサイトをご覧ください。



市民病院HP 人間ドック

人間ドック・健康診断に関するお問い合わせ

岡山市立市民病院 健康管理センター
TEL:086-897-3993(直通)
受付時間:平日12:00~17:00

ACCESS MAP

岡山市立市民病院までのアクセス

- JR** 山陽本線で岡山駅から北長瀬駅まで約4分(北長瀬駅より徒歩1分)
- バス**
 - 岡山駅より北長瀬駅前まで約22分 ●天満屋より北長瀬駅前まで約16分
 - 岡電バス・下電バス・両備バス共同運行 時刻表はホームページをご覧ください
 - 岡山駅から約4km、約10分 ●山陽自動車道岡山ICから約8km、約20分
 - ※車・タクシーをご利用の方は病院西側へお越しください。駐車場があります。
 - 外来受診の方は入場後6時間まで無料、以降30分100円
 - お見舞い・一般来院者は30分100円



岡山市立市民病院HP



岡山市立市民病院 WEBマガジン



公式LINEを開設しました

